

製品名: ラミン B1 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe21540**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:68kD;Observed MW:68kD

抗原情報

遺伝子名	LMNB1
別名	LMNB1;LMN2;LMNB;Lamin-B1
遺伝子 ID	4001.0
SwissProt ID	P20700
免疫原	ヒトラミン B1 の合成ペプチド

背景

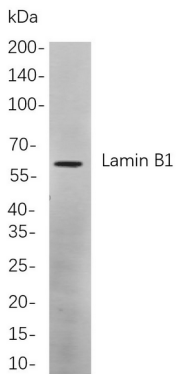
細胞局在: 核。ラミン B1 (LMNB1) ホモ・サピエンス この遺伝子は、2種類のB型ラミントタンパク質のうちの1つをコードし、核ラミナの構成要素である。この遺伝子の重複は、常染色体優性成人発症型白質ジストロフィー (ADLD) と関連する。選択的スプライ

シングにより、複数の転写産物バリエーションが生じる。[RefSeq提供、2015年12月]

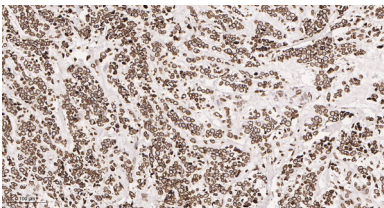
研究分野

-

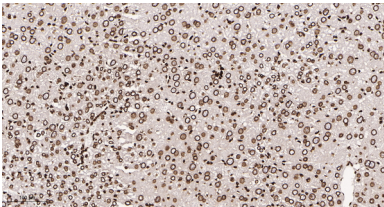
画像データ



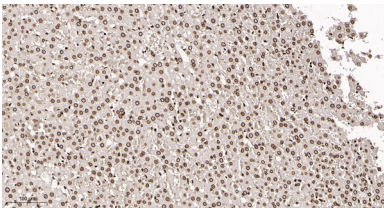
K562細胞のライセートのウェスタンブロット解析。ラミン B1 ウサギ mAb を用いた。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG 抗体を用いた。



パラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。1、ラミン B1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体賦活化には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋マウス肝臓組織の免疫組織化学分析。1、ラミン B1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。



パラフィン包埋ラット肝臓組織の免疫組織化学分析。1、ラミン B1 ウサギモノクローナル抗体を 1:200 に希釈 (4°C、一晚)。2、抗体の回復には EDTA pH 9.0 を使用 (>98°C、20分)。3、二次抗体を 1:200 に希釈 (室温、30分)。